

リュウキュウチシャノキ

ぜつめつ きぐ
絶滅危惧IA

か めい
科名 ムラサキ

べつ めい
別名 ヤエヤマチシャノキ

がく めい
学名 Ehretia dichotoma



く ぶん
区分 木本類

ぶん ぶ
分布 石垣島、西表島、台湾、マレーシア等

は かたち
葉の形 卵状長楕円形

は ふち
葉の縁 全縁

は さき
葉の先 鋭形

は しゅるい たんよう
葉の種類 単葉

は つきかた ごせい
葉の付方 互生

は きぶ えんけい ぜんせんけい
葉の基部 円形、漸尖形

み しゅるい かくか
実の種類 核果

はな がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

せい
めい
明

ていち せいいく じょうりよく こうぼく は りょうめんむもう だえんけい なが はば
低地に生育する常緑の高木です。葉は両面無毛、楕円形で長さ10-12 cm、幅4-6 cmで
す。花は小さく白く、枝先に集まってつき、花びらは5つに分かれています。実は核果で
きゅうけい けい
球形、径4 mmです。